

「応急手当」について

1. 杵築高校のAEDの設置場所について。

AEDは杵築高校に2台設置されています。

(1) 正面玄関内・・・事務室前玄関から入って左手奥のカウンターの上にあります。

(2) 体育館壁面・・・体育教官室窓の下壁に設置してあります。

※休日等で学校が閉まっている場合には(2)体育館壁面が使用できます。

2. 応急手当の方法を身につけよう。(出典：公益財団法人日本心臓財団 HP)

どうしたら救える？

必要なのは3つ。

- ① 119番通報とAEDの要請
 - ② 胸骨圧迫(心臓マッサージ)
 - ③ 電気ショック
- です。

救急車を待っていては遅すぎます。

心肺停止の際の応急処置は「秒」を争います。

一刻も早く救命処置を始めないと、助かる可能性がどんどん低下してきます。

行動を起こすことを恐れない。

仮に心臓停止でなかったとしても、胸骨圧迫によって、状態が悪化することはありません。

(倒れている人が嫌がるそぶりを見せたら中止します。)

AEDには、診断機能がついていて、必要のないときに電気ショックを与えてしまうこともありません。

倒れた人に反応が無かったら、恐れずに行動を開始してください。

それが、その人を救う最善の手段です。

(1) 正面玄関(事務室前)カウンター



(2) 体育館壁面

